

第32号

令和8年3月発行
関市子ども会育成協議会
【事務局】
関市若草通2丁目1番地
関市生涯学習課内
TEL0575-23-7777

わかさ

題字：上田 清四



土器づくり

縄文土器
づくり体験

土器焼き



インリーダー
研修会
(野外炊事)



保護者の皆さま、地域の皆さま、関市子ども会育成協議会の活動に、ご理解・協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、育成協議会ならびに各子ども会の役員におかれましては、子ども会の先頭に立って活動頂いていることに大変感謝しております。

豊かな自然体験や健全な「学び」「遊び」を通して、人と人との「つながり」を大切に、あわせて「地域で子どもを育てる」という子ども会の理念を達成するための活動を本年度も実施して参りました。

関市子ども会育成協議会会長 足立 雅彦

令和七年度 関市子ども会に寄せて

をもつことができました。

十月・十一月に塚原遺跡公園にて実施した「縄文土器づくり体験」では、多くの小学生・保護者に参加頂き、地域の歴史に触れ、親子で創作に親しむ場となりました。

また、九月に東北北陸ブロックの子どもの会大会が豊橋市で、十一月に全国子どもの会大会が熊本県で開催され、それぞれ本会役員を派遣いたしました。各地域の代表者の先進的な取り組みを拝聴し、他の参加者と意見交換を行った結果を関市子ども会での活動に還元したいと考えております。

子どもの減少により、組織や活動の運営にもさまざまな課題も多くあったかと存じます。育成協議会としても、各子ども会の皆さまの抱える課題に耳を傾け、寄り添いながらお互いに発展していく組織にしていきたいと考えております。

来年度も引き続き、関市子ども会育成協議会ならびに各子ども会の活動にご理解・協力を賜りますようお願い申し上げます。結びの言葉とさせていただきます。



関市子ども会の一年



6月 関市インリーダー研修会



5月 総会 KYT講話



10月 縄文土器づくり体験 土器づくり



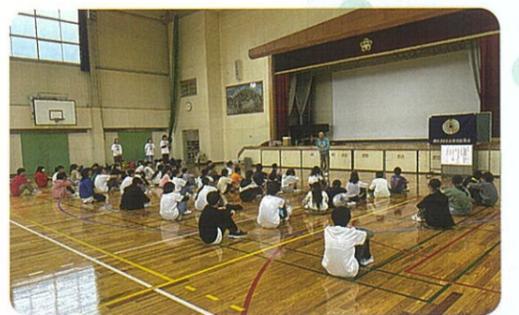
12月 縄文土器づくり体験 土器焼き



1月の作品展示



11月 関ジュニアリーダーズクラブ 秋の研修会



今年度の子ども会関連の表彰者について

●東北北陸地区子ども会連絡協議会表彰
関シア 吉村 沙矢佳(よしむらさやか)
関シア 堀 あかり(ほりあかり)

●岐阜県子ども会育成連合会理事長表彰
関JLC 藤城 敦育(ふじしろあつひろ)
関JLC 岩井 陽(いわいひなた)

●美濃ブロック子ども会育成協議会表彰
関JLC 粥川 心暖(かゆかわみほる)
関JLC 岩井 慈(いわいちから)
関JLC 横山 怜音(よこやまれん)
関JLC 渡邊 虎羽(わたなへこう)
(敬称略)

各地区 子ども会役員より

常任理事の活動を通して

旭ヶ丘地区 梅田 伊梨恵

今年度、初めて子ども会育成協議会の常任理事となり、他地区の方々とのふれあいなどにより様々なことを感じた一年になりました。私の地域の子ども会活動は終了しましたが、関市にはまだまだ子ども会活動が活発な地区も多数あり、保護者の方々が日々頑張つてみえることに感銘を受けました。きつと子どもたち(ごっこ)で思い出さないといいです。

また、縄文土器づくりのサポートスタッフとして参加したとき、ジュニアリーダーの子たちが自分たちで物事を決め、進めている姿を見て、自分の子育てでも振り返ることができました。我が家は夫婦と子ども一人の四人で暮らしているため、祖父母や地域の方々と交流している我が子を見るとき、子どもは外に出て様々な年代の方々と交流することによって学び、感じ、成長していくのだなと実感しております。これからも、子どもと一緒に積極的に様々なことに挑戦していきたいです。

土器づくりに参加して

瀬尻地区 中島 大希

今回、土器づくり(土器焼き)にボランティアスタッフとして参加しました。十二月ということもあり、冷たい風が吹く寒空の下でのスタートとなりました。木を焚くべながら少しづつ炎を大きくし、子どもたちが一生懸命作った個性豊かな土器を、割れないよう注意しながら炎のそばに並べていききました。火を扱ったり、作品を移動させたりする場

面では常に緊張感があり、安全面への細かな配慮が求められました。中学生のジュニアリーダーが中心となり、参加した子どもたちを落ち着いて誘導してくれていました。火に近づきすぎないように声を掛けたり、周囲に気を配りながら行動する様子から、日頃の活動を通して身に付けてきたリーダーシップを強く感じました。

倉知地区子ども会活動について

倉知地区 猿渡 侑

今年度の子ども会では、夏休み期間中のラジオ体操と冬に開催したクリスマス会を実施しました。

ラジオ体操では早朝に集まり、元気に体を動かすことで健康づくりと規則正しい生活習慣を身につける機会となりました。クリスマス会では、ビンゴ大会やケーキをみんなで食べ、楽しめた。子どもたちが笑顔で交流し、学年を越えたつながりを深めることができました。

これらの活動が実現できたのも、保護者の皆様や地域の方々のご理解と協力のおかげです。地域の仲間とともに過ごす時間は、子どもたちにとって貴重な経験とあり、子ども会としての活動の意義をあらためて感じました。今後子どもたちが安心して集い、交流を広げられる場を作りたいと思います。

富岡地区の活動を通して

富岡地区 渡邊 結衣

今年一年間、関市のさまざまな活動や、富岡地区の活動にボランティアとして関わり、いきいきとした子どもたちの姿や、それを支えてくれた地域の方々に、凄く心が温かくな

子ども会ポウリング大会

田原地区 藤本 紋那

私たちの分団では今年度、子ども会行事にポウリング大会を行いました。夏休みを開催したので暑さを考慮して室内でできるものを...と悩みましたが、暑さにも負けず子どもたちは元気いっぱいです。



関ポウリングセンターの方に会場の協力をいただき、高学年の子どもたちに司会進行をお願いしました。大人は裏方、低学年の子たちがガーターしないように配慮してスタート!

ポウリングが初めてという子たちや低学年の子たちは、保護者さんがいなくて最初は不安そうでした。ボールを自分で選んで、最初はうまく投げられず悔しさが出ますが、やっぴいうちに緊張もほぐれ、学年の垣根を越えて「やったー!」とハイタッチしたり、「あー、惜しい」と仲間を励ます姿もありました。

夏は暑くて室内にこもりがちになり、ゲームやテレビに依存しがちですが、暑さ対策もできて体を動かせるので保護者も嬉しいというありがたい体験となりました。

インリーダー研修会に参加して

武芸川地区 井藤 樹里亜

私は、インリーダー研修会にボランティアで参加しました。二日間ある研修で、一日目のオリエンテーションに参加し、一つのグループに同行しました。最初のうちは初対面という感じもあり、ぎ

りました。富岡地区では、毎年十月に大岡山探検隊というイベントが行われます。富岡小学校の近くの大岡山という山に登り、登山中にいくつかのミッションをクリアし、登り終えた先の麓の農園では、フェザースティックという着火しやすいように削る木を作る体験や、ダンボール滑り台、豚汁やみたらし団子などが準備されています。

登り終えて戻ってきた子どもたちの顔は、自信に満ち溢れ、ひとりひとりの成長を感じられました。登山中の出来事を楽しそうに話してくれる姿や、フェザースティックを削るために慣れない彫刻刀に苦戦しながら頑張る姿、この子もきりぎりしとした表情が印象的でした。

縄文土器づくり体験二日目

金竜地区 鈴木 聖二

今回は塚原遺跡公園にて、サポートスタッフとして縄文土器づくり体験に参加させていただきました。

当日は今季一番の寒気に覆われ強烈な寒さを感じていました。が、参加した多くの児童が元気いっぱいにはしゃいでいる様子にうらやましさすら感じられました。



十月に子どもたちが一生懸命制作した土器には、アイデアいっぱいの様々な土器があり、子どもたちの独創性が随所に詰まった作品を見ながら、大人になって忘れてしまった感性を思い出しました。大人になるとルールや同調圧力のような「縛り」にがんじがらめになり、発想力や考え方が狭まってしまつことに気が付かされました。

秋のスポーツ大会

下有知地区 石原 雅也

今宮子ども会では、十一月に秋のスポーツ大会を行いました。昨年度コロナ禍から再開し、今年度は昨年と趣向を変えスポーツ大会の実施となりました。

当日は多くの子どもたちが参加しました。牛乳パック積みや缶詰がし、的あてなどのゲームがあり、ゲームに参加するとスタンプが押してもらえると、スタンプラリー形式で行われました。子どもたちの笑顔がふくれ、とても良い企画になったと思います。

子ども数が年々減少していく状況ですが、運営には小学校六年生に協力してもらい、低学年や未就学児に丁寧にゲームの説明をする姿も見られ、学校だけでない地域の子どもたちや地域住民との交流が図られました。昔と比較し地域内での交流が減少している今、このような企画を行うことは地域内の子どもの繋がり、地域住民の繋がり、子どもたちの成長への一助になっていると感じました。行事の企画継続は大変ですが、企画していただいた役員の方々に感謝しつつ、今後も継続的に実施されることが望ましいと思います。

記憶に残る思い出を

南ヶ丘地区 玉田 優子

今年度南ヶ丘地区ではポウリング大会を開催しました。連合子ども会での活動は九年ぶり、今の子どもたちにとっても初めての経験でした。



今年度は南ヶ丘小学校創立四十周年の記念式典があり、その後開催することになりました。男女、学年関係なく、みんなで楽しむことが出来たと思います。最後にはみんなで集合写真も撮り、四十周年のいい記念になりました。企画から準備まで大変でしたが、子どもたちの沢山の素敵な笑顔が見られ、開催してよかったです。私自身にとっても初めての経験で、色々勉強にもなりました。いい経験になりました。

年々子ども人数が少なくなっていますが、学校を離れた環境下でも、こうして学年の違う子どもたちの交流があるのは、子どもたちの成長にとっても大切な思い出です。子どもたちの心の中に、「子ども会楽しかったな」と思い返してもらえそうな、経験や交流を、これからも保護者の方々と協力して続けていけたらと思います。

特色ある子ども会の活動紹介

新トピック

子ども会でパン作り&お楽しみ会

小迫間子ども会(田原地区) 小川 祐子

小迫間子ども会では、講師の方にご協力頂き「キャラクターパン作り」を行いました。また、パンを焼く時間を活用して「お楽しみ会」を行いました。

初めてパンを作る子もいれば、作った経験がある子もいましたが、温かな先生の雰囲気や保護者の皆様のご協力により、穏やかにパン作りが進んでいきました。

パン生地を丸めて一次発酵してから思い思いの形に成形し、二次発酵後に焼き上げました。みんなで声を掛け合いながらパンを好きな形に作り上げていく中で自然に笑顔や交流が生まれ、「みんなでパンを作る」という貴重な体験となり、よい思い出になったと思います。大人たちにとっても、子どもたちが作ったいろいろな形のパンを目にした時、そのパンを作った子どもたちの思いを聞くことで、子どもの自由な想像力に触れ、新鮮な感動を味わうよい機会となりました。

パンを焼く時間に行った「お楽しみ会」では、落語と化学実験を行いました。みんなの前で披露したい子にお願いし発表をしてもらいました。自分の好きなことや興味あることを練習して人前で発表するよい体験になったのではないかと思います。自ら「挑戦してみよう」と思ったことを頼もしく感じました。また、皆さんが温かく発表していただき、ありがたく感じました。

子ども会を通してよいご縁を頂き、みんなでいろいろな体験ができることに感謝します。

みんなで創る

今宮子ども会(下有知地区) 小椋 有紗

今年度も昨年復活した春祭りを実施し、今宮地区に元気な子どもの声が響きました。その際、みんなで何かをやる事が楽しかった事もあり、11月には「秋のスポーツ大会」を行いました。

投げる・蹴る・転がすといった身体を使ったミニゲームを5個行い、得点によってもらえるお菓子の個数が違うルールで実施。当日の運営には、保護者と6年生の子どもたちが参加してくれました。ホール内に大人や子どもの歓声があがっていました。その後のお菓子選びでは、駄菓子屋並みの沢山の種類から目を輝かせながら好きなお菓子を選んでいたのが印象的でした。

会長になり、負担はゼロではありませんでしたが、それ以上に他の保護者の方々に支えられて、子ども会運営を楽しめた一年となりました。ありがとうございました。

